



キーウェアソリューションズ株式会社

(東証2部 3799)

IT can create it.

# 決算説明資料

2012年3月期 第1四半期



キューカーブ2015

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。  
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

## IT投資抑制が強まる中、収益基盤の安定化を推進し、 減収ながら、前年同四半期と同水準の利益を確保

- 長引く景気低迷に加え、3月11日に発生した東日本大震災の影響から、日本経済の先行きの不透明感が強まっており、当社のクライアントである国内主要企業は、これまで以上にIT投資を抑制。
- 当社グループは、中期経営計画「Q Curve(キューカーブ)2015」のコンセプトである質的転換をはかるべく、事業内容の質的転換、顧客との関係の質的転換、人材の質的転換を推進、さらに、コスト削減の徹底、生産性向上などに取り組む。
- 厳しい事業環境の中、売上高は減収となったものの、収益面では、前年同四半期と同水準の利益を確保。

## 連結損益計算書概要

(単位：百万円)

決算期 項目	2011年3月期 第1Q	2012年3月期 第1Q	増減率
売上高	3,189	2,984	-6.4%
売上原価	2,729	2,524	-7.5%
売上総利益	460	459	-0.2%
販管費	708	707	-0.1%
営業利益	-247	-247	0.1%
経常利益	-248	-258	-4.3%
純利益	-325	-265	18.4%

- **システム開発事業** : 公共システム開発事業が牽引し、前年同期比11%超の売上高
- **総合サービス事業** : 企業のIT投資抑制が大きく影響し、軟調に推移

セグメント/決算期 (単位:百万円)	2011年3月期 第1Q	2012年3月期 第1Q		増減率
	売上高	売上高	構成比	
■ <b>システム開発事業</b>	1,090	1,213	40.7%	11.4%
・ 公共システム開発事業	733	958	32.1%	30.6%
・ ネットワークシステム開発事業	356	255	8.6%	-28.3%
■ <b>総合サービス事業</b>	1,569	1,286	43.1%	-18.0%
・ システムインテグレーション事業	364	249	8.4%	-31.4%
・ ITサービス事業	1,053	860	28.8%	-18.3%
・ サポートサービス事業	151	176	5.9%	16.1%
■ <b>その他</b>	530	483	16.2%	-8.8%

\* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

\* 「その他」: 報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

## ■ システム開発事業

### 公共システム開発事業

- 官公庁系
- 金融系



受注高、売上高ともに軟調に推移

- 通信系
- 報道系



受注高、売上高ともに堅調に推移

### ネットワークシステム開発事業

- 航空宇宙系



受注高、売上高ともに軟調に推移

- ネットワーク監視系



受注高、売上高ともに軟調に推移。  
損失プロジェクトの影響から収益面で損失を計上

## ■ 総合サービス事業

### システムインテグレーション事業

- 運輸系SI案件 → 大型のリプレイス開発案件の受注獲得を推進したものの、軟調に推移し、受注高、売上高の不調により収益面で損失を計上
- 医療系SI案件 → 電子カルテ、オーダリング案件を主軸として、継続・新規の受注獲得を積極的に推進し、受注高、売上高ともに堅調に推移

### ITサービス事業

- インフラ構築事業 → 自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件が減少、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化等が続いており、軟調に推移
- keyCOMPASS事業
- ERP事業 → 継続・新規の受注獲得を積極的に推進し、受注高、売上高ともに堅調に推移

### サポートサービス事業

- サポートサービス事業 → 既存顧客の原価低減に伴う受注額の減少や顧客企業による内製化の推進による稼働率の低下が発生したことにより、SO(System Outsourcing)業務が軟調に推移

**連結貸借対照表概要**

(単位：百万円)

項目	決算期	2011年3月期 第4Q	2012年3月期 第1Q
<b>資産合計</b>		9,415	9,045
流動資産		4,739	4,450
固定資産		4,675	4,594
<b>負債合計</b>		2,909	2,812
流動負債		2,176	2,228
固定負債		733	583
<b>純資産合計</b>		6,505	6,232
資本金		1,737	1,737
資本剰余金		507	507
利益剰余金		4,262	3,996
その他		-1	-8
<b>負債・純資産合計</b>		9,415	9,045

## 事業・業界の環境

## 東日本大震災発生の影響による内需の停滞



## 〔官公庁・自治体・ユーザ企業〕

- ・ 東日本大震災の影響により、復旧・復興を優先
- ・ 景気の悪化を見越しIT投資抑制を継続
- ・ 本格的な回復は、寸断されたサプライチェーンの復旧と復興需要等によるユーザ企業が業況回復後

## ●情報サービス業界

5月までは24ヵ月連続前年同月比マイナス  
売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」前年同月比-4.5%

## ●当社の業界見通し

少なくとも上期までは厳しい状況になると想定

## 質的転換の継続によるスピーディな事業展開

- 1 更なる品質・顧客満足度の向上
- 2 サービス提供型、クラウド関連を事業として確立
- 3 プライムユーザ拡大

東日本大震災、原発被災に伴う電力不足などの影響による事業環境悪化により、当社のクライアントである官公庁、自治体、ユーザ企業は復旧、復興を優先し、IT投資は、先送りされることが予想される

### 〔当社の取組み〕

- サービス提供型・クラウド関連に注力、拡大はかる
- 復興に関わる主に五大顧客からの社会インフラシステムの需要取り込み

**復興に関わる主に五大顧客からの社会インフラシステムの需要取り込み**

- 震災後のデータセンターへの移設、システム二重化等の災害対応に向けたインフラ構築の受注獲得と引き合いが増加

**ユーザー企業の投資マインドに回復の兆し**

- 民需向けのERP案件は、震災直後は停滞したものの、6月以降は引き合いが増加 → 受注獲得に向けた体制づくりに注力

**サービス提供型・クラウド関連の事業としての確立**

- 「世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業」の受託とサービスの開始

**パートナーと連携した販売戦略が堅調**

- ハイブリッドシンクライアント「GO-Global」のパートナーと連携した販売が堅調 → 特に病院(医療)関連での活用事例が増加

**組織改編の成果**

- コンサルティング部と各営業部の連携により、顧客ニーズの掘り起こしと提案内容の高付加価値化を実現 → 新規顧客の獲得や新規案件の受注

取り組み 1

**NECとWebOTX(NEC製品:クラウド時代のサービス実行基盤)のパートナー契約を締結予定**  
→ **専門技術者の拡充とNECとの連携強化による新規案件の獲得を目指す**

取り組み 2

**メンタルヘルスのコンディション診断プログラム「メンタルエクスプレス」※を  
法人や学校関係者向けに販売**

※(株)ユコラが開発しクラウド型システムで提供しているサービス

取り組み 3

**大規模災害における事業継続支援**

→ **「GO-Global」を活用したテレネットワークの提案によるプライム顧客の拡大**

## 2012年3月期 連結業績予想・株主還元

**業績予想並び配当予想につきましては、現時点では東日本大震災による顧客等のIT関連投資や設備投資への影響を見極めている状況であります。開示が可能となった段階をもって速やかに発表させていただきます。**

**KEYWARE**  
*SOLUTIONS*

お問い合わせ

E-Mail : [ir@keyware.co.jp](mailto:ir@keyware.co.jp)

TEL : 03-3226-3799